

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 078	提案機関名 城ヶ島漁業協同組合
要望問題名 城ヶ島のアワビと漁場の健全さについての調査	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年、城ヶ島では、岩から簡単に剥がれるアワビが多く、幼貝は少ないと実感していて、漁場の将来が心配である。アワビ及びアワビ漁場の健全度を調べ、回復方法を示してほしい。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	栽培推進部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 再生産によるアワビ資源添加技術の開発 磯焼け・藻場再生支援事業		
対応の内容等	平成26・27年度に、漁獲されたアワビの殻長及び重量を測定しておりますので、それを10年前のデータと比較することで、現在のアワビの健全度を評価いたします。 また、平成27年度より開始した磯焼け・藻場再生支援事業により、アワビ漁場の状態の把握に努め、アワビ漁場としての藻場の回復方法を探り、アワビ資源量の回復につなげることを目指します。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			